

管理型処分場拡張へ

許可取得し掘削を開始

一廃・産廃処理事業
を手掛けるヤマゼン
(三重県上野市、☎05
95・20・9250)

は、保有する管理型最
終処分場「上野エコセ
ンター」の拡張許可を
三重県から取得、第3
期工事を開始した。拡
張容量は64万立方メートル
2013年末中の完成
に向け作業を進める。
同処分場は三重県上
野市に立地する。埋立
面積は6万7182平方
メートル、埋立容量は17
0万6481立方メートル。

取扱品目は、燃え殻、
汚泥、廃プラスチック
類(石綿含有産廃を含
む)、紙くず、木くず、
繊維くず、動植物性残
さ、ゴムくず、金属く
ず、ガラス陶磁器くず
(石綿含有産廃を含
む)、鋳さい、がれき類
(石綿含有産廃を含
む)、ばいじん、令第13
号廃棄物、特定有害廃
石綿等の15種類となっ
ている。

拡張工事に合わせ、
同社の敷地に新たなト
ラックスケールと駐車
場を整備した。トラッ
クスケールはフルトレ
ーラーをそのまま載せ
られる大型のものを設
置して、効率的な運搬
を実現。駐車場を拡張
することで車両の待機
も可能とし、搬入出時
の道路混雑の改善な
ど、地域にも配慮した。
同社は昨年、グルー

プ体制を再編。汚染土
壌の浄化・再生事業や
碎石・砂利製造、建設
系を得意とする山崎砂
利商店の販売力を生か
して、無機系廃棄物
(汚泥、燃え殻、鋳さ
い)を再生、埋め戻し
材「Kas-TS(アールス
75)」の生産を開始。
原料となる無機系廃棄
物は業種を限定し、搬
入段階で土壌環境基準
をクリアするもののみ

を使用するなど、環境
に配慮した。また、ヤ
マゼン、山崎砂利商店
ともに計量事業所とし
て認可された分析室を

違いが良い相乗効果を
生み出している。今回
の拡張で、強みをさら
に高めていきたい」と
話している。



第3期工事の現場

完備、品質管理を徹底している。

同社の奥田貴光専務は「山崎砂利商店は土木・建設関係、当社は廃棄物や埋設物の処理と、得意分野の